

「埼玉県肝炎医療コーディネーター」・「埼玉県肝炎地域コーディネーター」について

県では、肝炎患者の支援を目的として、平成25年度から「埼玉県肝炎コーディネーター」を養成してきました。平成30年度からは、活動場所に応じて「埼玉県肝炎医療コーディネーター」と「埼玉県肝炎地域コーディネーター」の2種類を設けることとしました。

	埼玉県肝炎 医療 コーディネーター	埼玉県肝炎 地域 コーディネーター
研修名	埼玉県肝炎医療コーディネーター養成研修会 (医師を対象とした肝炎医療研修会と一部合同で実施します)	埼玉県肝炎地域コーディネーター養成研修会
対象者 ・ 活動場所	<ul style="list-style-type: none"> ・肝疾患診療に関する地区拠点病院 ・一次医療機関 ・薬局 等で勤務している職員 (職種は問いません)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等で労働者の健康管理を行う職員 ・県や市町村の肝炎事業に携わる職員 ・患者会会員 等 (職種は問いません)
役割	肝臓病教室の開催、治療に関する助言、行政機関が実施する助成制度の案内等	肝炎ウイルス検査の啓発、仕事と治療の両立支援、行政機関が実施する助成制度の案内等
研修プログラム	肝疾患の基礎的な知識(総論・各論)、県の肝炎に関する施策、肝炎医療コーディネーター試験等	肝疾患の基礎的な知識(総論)、県の肝炎に関する施策、仕事と治療の両立支援、肝炎地域コーディネーター試験等
有効期間	研修会を受講した日から受講した年の5年後の末日まで	研修会を受講した日から受講した年の5年後の末日まで
更新	「肝炎医療・地域コーディネーターフォローアップ研修会」の受講により更新	

上記の「対象者・活動場所」は研修を選択する際の基準(目安)ですが、どちらでも受講していただけます。また、両方を受講していただくこともできます。

「肝炎医療コーディネーター」及び「肝炎地域コーディネーター」に関するQ&A

Q 1 平成30年度から2種類の研修会を設ける目的は？

平成29年度までのコーディネーター養成研修会の受講者は、医療機関の看護師、薬剤師等が中心で、主に医療従事者の立場から肝炎患者、家族等を支援する役割を担っていた。

今後は、従来の役割を担うコーディネーターに加え、職場や地域において未受検者に肝炎ウイルス検査の受検を促し、早期発見、早期受療につなげるとともに、肝炎患者の地域での生活や仕事との両立支援を推進する役割を担うコーディネーターも養成することとした。対象者は、行政機関や職域の関係者である。

以上の理由から、プログラムや開催方法を行政機関や職域の関係者に合わせた研修会を別途設けるものである。

Q 2 「肝炎医療コーディネーター」と「肝炎地域コーディネーター」の養成プログラムの主な相違点は何か？

肝炎医療コーディネーターの養成においては、平成29年度までの研修と同様に、医学に関する専門性をより深める内容を中心とする。また、肝炎地域コーディネーターの養成においては、医学に関しては基礎的な内容とし、医療費助成などの制度や、患者の心理、仕事との両立支援など、療養に関する理解を深める内容も加えるものとする。

Q 3 所属機関や活動場面によりいずれかしか受講できないか？

希望により、受講する研修会を選択することは可能。

同年に両方を受講することも可能とする。

Q 4 平成29年度までの修了者の扱いは？

「肝炎医療コーディネーター」と同種として扱う。

Q 5 現在、「埼玉県肝炎コーディネーター」として有効な修了証書を取得しているが、本来所属が保健センターや患者会など地域での活動が主な場合、肝炎地域コーディネーターの養成研修を受講しないとしないか？

受講をお勧めするが、必須とはしない。

できるだけフォローアップ研修等で内容を補足することを検討する。

Q 6 受講する研修によって活動する場面は制限されるのか？

要綱に示しているのは主な活動場面であり、受講する研修による活動の範囲は制限しない。

Q 7 肝炎医療コーディネーターまたは肝炎地域コーディネーターの修了証書を所持していることがわかる方法はあるか？

各コーディネーターとしての自覚を持つことと、相談者に相談のしやすさや安心感を与えることを目的に、2種類のバッジを作成し着用してもらう。

Q 8 修了証書の更新はどのように行うのか？

修了証書の有効期間は、各コーディネーターともに、受講日から受講した年の5年後の年末までとし、有効期間内にフォローアップ研修会を受講することで、フォローアップ研修会を受講した年の5年後の年末まで期間を更新できるものとする。

Q 9 修了証更新のためのフォローアップ研修会はどのような内容か？

フォローアップ研修会は肝炎医療コーディネーター、肝炎地域コーディネーターの区別はせず年1回開催し、内容は肝炎対策のトピックス、課題、各コーディネーターの活動事例等とする。